

【建設通信新聞 令和3年11月19日】

## GKGコンテスト 優秀12現場を表彰

群馬県建設業協会（青柳剛会長）の会員企業の女性社員で組織する「環境すみずみパ



トルール隊」（愛称GKG「ぐんけんガール」）は、女性目線で評価した快適職場を表彰する「環境すみずみ（GKG）コンテスト」を行い、2021年度優秀工事現場として12件を選定した。17日の施工技術発表会に合わせ表彰式を開き、受賞者代表に表彰状を授与した写真。

表彰現場は次のとおり。

▽補助公共社会資本総合整備（国土強靱化）道路改良工事分割11号前橋市下佐馬町外内朝倉区Ⅱ稲村建設▽新防炎体育館（仮称）建設工事Ⅱ冬木工業・井ノ上・カワナベ工業JV▽補助公共社会資本総合整備（防災・安全）（通常砂防）（重忠）分割2号Ⅱ坂本建設▽21推進工事（7・8・9・11区）Ⅱ第一工業・神澤組JV▽社会福祉法人花輪光明会宝泉保育園新築工事Ⅱ石川建設。

▽補助公共道路改築事業（地方道・連携）分割17号（舗装工）Ⅱ勝野建設▽昭和村役場新庁舎建設工事Ⅱ沼田土建・石坂建設JV▽北部環状線街路事業道路築造工事（2工区）Ⅱ塚越土建▽補助公共社会資本総合整備（広域新潟長野）道路改良工Ⅱ秋原建設▽補助公共河川災害復旧令和元年災第737号その2Ⅱ渡辺建設▽単独公共単独道路改築事業Ⅱ西毛建設▽第五小学校屋内運動場大規模改修工事Ⅱ小曾根建設。

## 群馬建協、技士会が施工技術発表会

### 最優秀に松浦さん（関東建設工業）

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塩原聡会長）は17日、前橋市の群馬建設会館で2021年度施工技術発表会を開いた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者を少人数に絞り、協会12支部と官公庁の聴講申込者をウェブカメラでつないだ。約280人が参加した。第13回となる今回は、土木12件、建築3件の計15件の事例発表があり、関東建設工業の松浦秀幸さんが最優秀賞に輝いた写真。



開会に当たり、池原純副会長は「来月1日から始まる『技術者の学び直し』のリカレント研修や全工程を学べる最新の『ICT活用技術の研修』をより積極的に進めることによって、技術者の皆さんのやりがいを支える活動を展開していきたい」とする青柳

会長のメッセージを代読した。

塩原会長は「発表会で会員企業の技術者が持つ優れた施工能力やノウハウ、創意工夫などさまざまな事例を学ぶことは、良質な社会資本整備に貢献する」と述べた。

最優秀に選ばれた関東建設工業の現場は、太田市外三町広域清掃組合が発注した「太田市外三町広域一般廃棄物処理施設建設工事」。DBO（設計・建設・運営）方式によりエネルギー回収型廃棄物処理施設を整備した。耐力壁部分を温度解析し、熱びり割れが起きやすい箇所を予測するとともに、耐力壁外周部を防水施工し、ひび割れ防止と防水による二重の漏水対策を施した。

表彰後、関東地方整備局渡良瀬河川事務所の穴原一幸副所長は「発表された技術情報の使い方はさまざまに思いますが、これが技術者を助け、現場を助けることにつながる」と話した。

優秀賞と優良賞の受賞企業と工事名は次のとおり。カッコ内は発表者（敬称略）。

#### 〈優秀賞〉

▽萩原工業（宮澤皓介）Ⅱ秋間川右岸護岸付替工事▽塚本建設（吉澤樹）Ⅱ元総社幼稚園改築工事。

#### 〈優良賞〉

▽原工業（井良誠）Ⅱ足利管内河道整備工事Ⅱ田中建設（川端博昌）Ⅱ伊勢崎市第4期最終処分場土木施設建設工事Ⅱ南波建設（小黒春樹）Ⅱ上信自動車道（仮称）泉沢川橋P2橋脚工事Ⅱヤマト（藤嶋拓朗）Ⅱ救急浄水場配水塔築造工事（施更第1号）Ⅱ上毛緑産工業（塩野岳憲）Ⅱ林道岩崎山線（山田工区）応急施設工事。

## 最優秀に松浦氏

群馬建協に施工技術発表会

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塩原聡会長）は18日、前橋市の群馬建設会館で2021年度施工技術発表会を開いた。県内12支部の会員企業が土木12件、建築3件の計15件を発表。最優秀賞に太田支部の松浦秀幸氏（関東建設工業）を選んだ。優秀賞は安中支部の宮澤皓介氏（萩原工業）と藤岡支部の吉澤樹氏（塚本建設）を選定した。発表会は昨年度に引き続き群馬建協の12支部などを



最優秀賞の表彰状を受け取る松浦さん

ウェブで結び約280人が聴講した。最優秀賞の松浦氏は17年6月～21年3月に施工していた「太田市外三

町広域一般廃棄物処理施設建設及び運営事業」の取り組みを発表。地下水位が高い施工条件での地下水対策や施設稼働後の漏水対策、ごみピット部のコンクリート表面精度の向上、作業員の安全対策などを写真やスライドも使って説明した。

審査委員長は群馬建協の大川弘志土木舗装委員長が務めた。審査委員は穴原一幸関東地方整備局高崎河川国道事務所副所長、後藤剛群馬県県土整備部建設企画課長、松本あい子群馬建築士会常任理事（女性委員会委員長）、宮村恵介上毛新聞経済担当主事、小曾根久八群馬建協建築委員長。審査講評で穴川副所長は「どれも優れた施工技術で感想も含めて大変有意義だった。新しい技術に取り組むことが技術者のスキルアップにつながる」と述べた。群馬建協の池原純副会長は

青柳会長のメッセージを代読。「発表会を13年も続けるとこの工事でもレベルアップしてきたのが分かる。（支部へのリモート配信による開催は）良質なオンライン環境の整備などが定着してきた成果だ。今後の協会運営の一つのモデルとして機能してきた」とした。

優良賞、佳作の受賞者は次の通り。▽所属企業・受賞者（支部）。敬称略。

- 【優良賞】  
▽原工業・井貝誠（館林）▽田中建設・川端博昌（伊勢崎）▽南波建設・小黒春樹（吾妻）▽ヤマト・藤嶋拓朗（前橋）▽上毛緑産工業・塩野岳憲（渋川）
- 【佳作】  
▽立見建設・山田和彦（前橋）▽岩井土建・高橋秀和（高崎）▽北村土木・飯島佐登史（桐生）▽大沢建設・林浩二（太田）▽萬屋建設・二見翔（沼田）▽青木土建・講堂浩信（藤岡）▽アイビック・宮口裕基（富岡）。

## 12現場を表彰

群馬建協、環境すみずみ G K G コンテスト

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は「環境すみずみ（G K G）コンテスト」の表彰式を17日に前橋市の群馬建設会館で開いた。会員企業の女性職員らでつくる「ぐんけんガール（G K G）」が衛生対策などが優れていた現場を表彰。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染予防チェックシートも活用し、清潔さなどを評価した。12支部で各1現場を選定。代表として石川建設工業（太田支部）にパトロール隊員が表彰状を贈呈した。写真。

表彰現場は次の通り。  
〈支部〉現場〓施工者。  
〈前橋〉補助公共社会資本総合整備国土強靱化道路改良工事分割11号〓稲村建設  
〈高崎〉新町防災体育館（仮称）建設工事〓冬木工業・井ノ上・カ



- ワナベ工業▽  
〈桐生〉補助公共社会資本総合整備（防災・安全）（通常砂防）（重点）分割2号〓坂本建設  
〈伊勢崎〉2-1推進工事（7・8・9-1工区）〓第一工業・神澤組▽  
〈太田〉社会福祉法人花輪光明会宝泉保育園新築工事〓石川建設  
〈渋川〉補助公共道路改築事業（地方道・連携分割17号舗装工（一））  
南新井前橋線2期工区〓勝野建設  
〈沼田〉昭和村役場新庁舎建設工事〓沼田土建・石坂建設▽  
〈藤岡〉北部環状線街路事業道路築造工事（2工区）〓塚越土建  
〈安中〉補助公共社会資本総合整備広域新潟長野 道路改良工〓萩原建設  
〈吾妻〉補助公共河川災害復旧令和元年災第737号その2〓渡辺建設  
〈富岡〉単独公共単独道路改築事業〓西毛建設  
〈館林〉第五小学校屋内運動場大規模改修工事〓小曾根建設。

群馬県建設業協会  
土木建築技術管理

# 最優秀賞は松浦氏

## 第13回施工技術発表会



塩原会長



池原副会長

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木建築技術士会（塩原聡会長）は17日、群馬建設会館で13回目となる施工技術発表会を開催した。12支部の会員企業から土木工事12件、建築工事3件の計15件について事例が発表され、関東建設工



後藤課長

業の松浦幸氏が最優秀賞を受賞した。また、女性の目線で建設現場の快適さをチェックする環境すみずみコンテストも実施。12支部それぞれで特に優れた取り組みを行っていた現場を表彰した。発表会は12支部へのWeb配信を行いながら開催された。池原純副会長は「発表会は今回で13回目となり、どの工事でもレベルアップしてきたこと



最優秀賞を受賞した松浦氏

がわかる」と青柳会長のあいさつを代読。塩原会長は「優れたノウハウを学ぶことは良質な社会資本整備にもつながる」と話した。

審査後には、国土交通省渡良瀬川河川事務所の穴原 幸副所長が「生きた施工技術が積み重ねられていくのは素晴らしいこと。このような発表会が技術者や現場を助けることとなる」とたたえた。審査結果は次のとおり（敬称略）

【最優秀賞】  
◇松浦 幸（関東建設工業）

【優秀賞】  
◇宮澤皓介（萩原工業）  
◇古澤樹（塚本建設）

【優良賞】  
◇井貝誠（原工業）  
◇川端博昌（田中建設）  
◇小黒春樹（南波建設）  
◇藤嶋拓朗（ヤマト）  
◇塩野岳憲（上毛緑産工業）

施工技術発表会15社発表

# 松浦さん最優秀

関東建設工業

表彰される松浦さん



建設現場での創意工夫や新技術活用成果を披露する施工技術発表会が17日、前橋市の群馬建設会館を拠点に開かれた。県内12支部から選ばれた15社が発表し、最優秀賞に関東建設工業（太田支部）の松浦幸さんが輝いた。

松浦さんは太田市に建設したごみ処理施設だ。発表会は新しい工法

や工夫を学び、プレゼンテーション能力を高めてもらおうと県建設業協会と県土木建築技術士会が開催し、13回目。県内各支部からのリポート参加も合わせ、約300人が出席した。

最優秀賞以外の入賞者は次の通り。（敬称略。かつこ内は支部名と発表者）

▽優秀賞 萩原工業（安中、宮沢皓介）塚本建設（藤岡、吉沢樹）▽優良賞 原工業（館林、井貝誠）田中建設（伊勢崎、川端博昌）南波建設（吾妻、小黒春樹）ヤマト（前橋、藤嶋拓朗）上毛緑産工業（渋川、塩野岳憲）